

2作目3話のトリックについて

ここでは、トリック自体のトンデモなさは追求しないものとする。
むしろ、そのトンデモなさこそ、逆転裁判の面白さのひとつである。
また、以下はあくまでも推測であり、公式なネタではありません。
トリックにミスがあることを、カプコンが公式にコメントしたことはありません。

銅像落下のタイミング

この話の謎は、「窓から下をのぞくことの出来ないアクロが、どうやって被害者が木箱を抱えた瞬間を把握し、銅像を落下させたのか？」である。
ちなみに第2回法廷での成歩堂の推理は

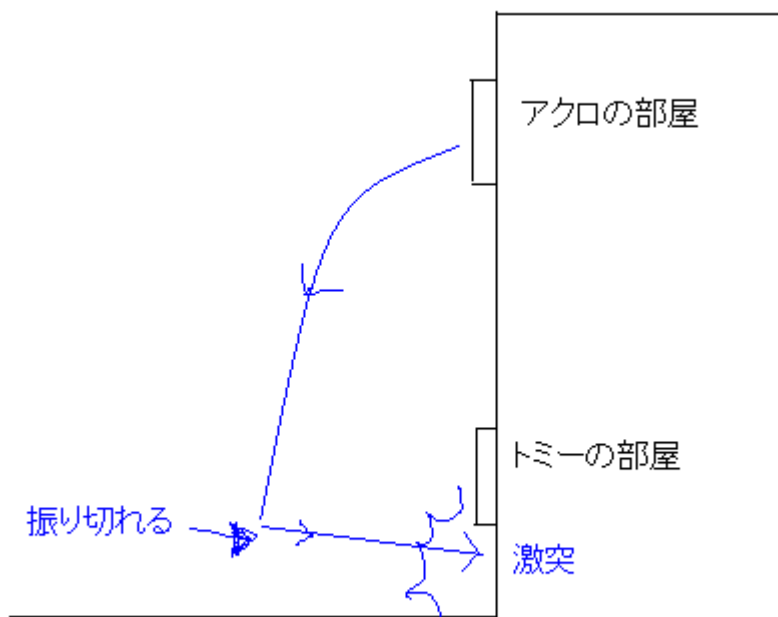
「　　そして、団長は現場に到着。
足下の木箱を持ち上げようとする！
それを見はからって、アクロさんは
ロープを解きはなつ！」

“それを見はから”う方法については、一切触れられていない。

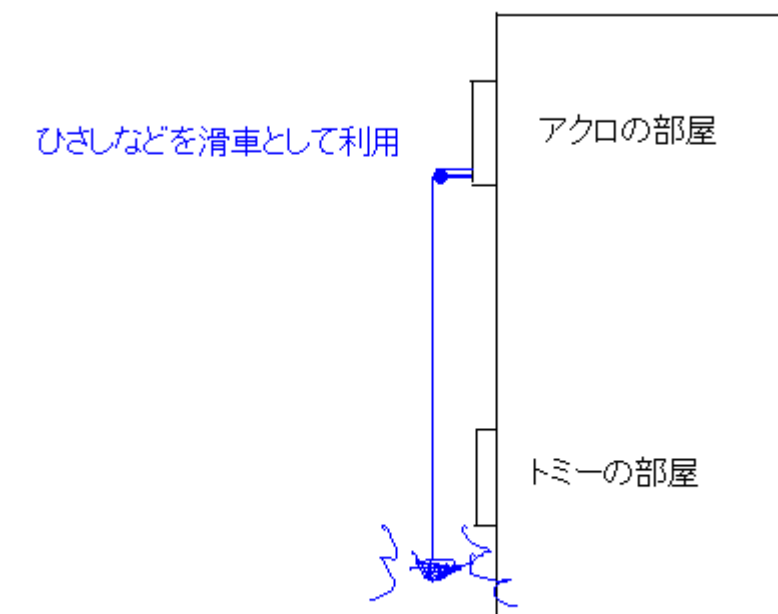
足音を聞いて胸像を落とすスタンバイをし、
木箱の取っ手をガチャガチャする音を聞いた瞬間落としたと思われる。
しかし確実性は欠ける。

銅像落下方法

銅像を普通に落とすと（放り投げると）



こうなるので、



多分こんな感じで落としたのであろう。

木箱の中のコショウの意味

第2回法廷では成歩堂が

「被害者は、木箱を持ち去ろうと
していました」。

その箱の中に“決定的な証拠”が入っていたからです！」

と発言する。

しかし、アクロは木箱を開けさせるつもりなどなく、ミリカを殺害しようとしていた。木箱にコショウの瓶を入れておく必要などなかったはずである。

むしろ、瓶を入れておくことで、後に警察が調べた際にコショウを発見され、そこから動機を探られて、アクロが犯人であると気付かれる可能性があった。

事実、成歩堂は（ひいてはプレイヤーは）コショウを証拠として真相を暴いていく。

では、木箱にコショウの瓶を入れたアクロの目的は何だったのか？

ずばりと言ってしまうえば、上の通り、プレイヤーに推理させるためのアイテムだったと思われる。

ただし、“プレイヤーに推理させる”ことを優先してしまった結果、ストーリーとしては謎が残る結果になってしまった（つまり、シナリオのミス）。

アクロ以外はコショウでクシャミをしたという事に気づかず、コショウが付いているスカーフは自分が持っていたため、スカーフさえ見つからなければ警察にばれる事はないと判断したのだろうか。

（トリックに使うために選んだ木箱にたまたまコショウが入っただけ、とは考えられないだろうか？）

アクロはスカーフで、レオンがコショウでクシャミしたことを知った。

他の人は何故バットにかみついたのかわからない。

アクロが事実をぶっちゃければ大事になる。

だから秘密にして、ミリカを殺す計画をこっそり立てた。

というところか。